

2014 年度春の三者総会 議事録

2015 年度三者事務局校・神戸大学

平成 27 年 3 月 21 日

於・早稲田大学 DE 会場

目次

1	2015 年度修正予算案	1
1.1	概要	1
1.2	質疑応答	1
2	原子核三者若手の抱える課題解決に向けて	1
2.1	講師の旅費補助	1
2.1.1	概要	1
2.2	参加者増を見込める開催地・時期の模索	1
2.2.1	概要	1
2.2.2	質疑応答	1
2.3	M1 の発表及び DC・PD の参加の促進	2
2.3.1	概要	2
2.3.2	質疑応答	2
2.4	引き継ぎの早期化と情報集約化	2
2.4.1	概要	2
2.4.2	質疑応答	2
3	ローテーション校の新しい選定方法の作成	3
3.1	概要	3

1 2015 年度修正予算案

1.1 概要

2015 年度三者センター校（北海道大学）により予算案が提出され、承認された。

1.2 質疑応答

- Q. 三者準備校（東北大学）の下見交通費（3 人分）は多すぎではないか？
- A. 校長、会計、会場係が実際に下見・交渉する必要があったため、妥当な額である。
- Q. 繰越し金 80 万は多すぎではないか？
- A. 繰越し金を削り、学生・講師の旅費に回すことが可能である。

2 原子核三者若手の抱える課題解決に向けて

2.1 講師の旅費補助

2.1.1 概要

講師の方へ参加依頼する際に、以下の内容を伝えるという方針が承認された。

1. 旅費・宿泊費の補助を行う用意がある
2. 講師旅費のための予算を学生の旅費に回したい
3. 講師の財源に余裕があれば補助を辞退していただきたい

これに加え、

- 講師の方への参加の依頼メールのテンプレートを作成する（2015 年度三者センター校：北海道大学が担当）

ことが決定した。

2.2 参加者増を見込める開催地・時期の模索

2.2.1 概要

他の研究会との日程が重複することを防ぐために、早期に会場を選定し他の研究会の主催者に周知する。具体的には夏の三者総会で三者若手に周知した後、SGL 等のメーリングリストに情報を流すことが承認された。過去に提案された福島を開催地として検討するとともに、

- 全国で好ましい会場をリストアップする（2015 年度名簿校：広島大学が担当）

ことが決定した。解決案のさらなる模索は、2016 年度三者準備校に引き継ぐ予定である。

2.2.2 質疑応答

- Q. 夏の学校の開催時期を変更してはどうか？
- A. 学会への参加、論文の提出等により、学生がまとまった時間を確保できる時期が限られるので難しい。

2.3 M1 の発表及び DC・PD の参加の促進

2.3.1 概要

研究交流会の企画、DC・PD の誘致、M1 の勉強内容の発表を推奨することにより参加者、発表者の増加を図ることが承認された。

- 夏の三者総会を目前に、夏の学校に関するアンケートを作成する（2015 年度三者センター校：北海道大学が担当）

が決定した。アンケートは 2015 年度夏の三者総会後の実施を予定している。

2.3.2 質疑応答

Q. 研究交流会や発表の時間確保はどうするか？

A. 一つの案として、講義時間を減らすことが挙げられる。

Q. 夏の学校に参加しない理由をどのようにして把握するか？

A. アンケートを取り、後日問題点を整理する。夏の学校 HP 上にアンケート用にページを作成する等。夏の学校に参加していない学生に対しては、各研究室を通じてアンケートを依頼することが有効である。

Q. 研究交流会等の企画はどの役職校が担当するのか？

A. 新たな企画担当の役職校の設立を含め、検討の余地有り。

2.4 引き継ぎの早期化と情報集約化

2.4.1 概要

早期の引き継ぎ作業開始と情報集約化を行うことと、その具体的な手順（議案書参照）が承認された。

- 三者センター校・準備校は、特に予算、会場、日程について 6 月末までに引き継ぎを完了させる。
- 講義録を YONUPA-HP 上にも掲載する。各パート準備校が三者事務局校にデータを送る。
- 情報集約化のため、専用の web ページの開設を検討する（2015 年度三者事務局校：神戸大学が担当）
- 基研のサーバーを用いて役職校引き継ぎ用の wiki を作れるかを確認する（2015 年度三者センター校：北海道大学が担当）

ことが決定した。

2.4.2 質疑応答

Q. 役職校が管理している情報を三者若手全体で共有するべきか？

A. 管理者と第三者が閲覧してよい情報の選定が必要であるため、検討の余地有り。

Q. 各役職校の組織編成をわかりやすくする方法はないか？

A. 各パートの組織編成を統一し、各組織の仕事を明確化する必要有り。それらの情報と歴代の役職校の情報を web ページに掲載することを検討する。

3 ローテーション校の新しい選定方法の作成

3.1 概要

三者準備校・三者センター校について、議案書にある新しい選定方法を適用することが検討された。

- 2015 年度夏の三者総会で具体的な選定方法を提案する（2015 年度三者事務局校：神戸大学が担当）
ことが決定した。